取扱説明書番号
D118-CXXY

CITIZEN

電波時計　取扱説明書

（掛置兼用デジタル時計）

～ 製品の特長 ～

●標準電波を受信して正しい日時に自動修正

●日時、曜日、温度、湿度表示

●熱中症など環境の目安を表示

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元　リズム時計工業株式会社
〒330-9551　埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

（Y1212）

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この製品の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用、または現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。修理の内容や送料により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

This product is intended for the Japanese market.
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先　お客様相談室　0120-557-005（フリーダイヤル）
受付時間 9:00 ～ 17:00（土日、祝日および当社休日を除く）
お問い合わせに際しては、製品番号（型番）「8RZ147」をお伝えください。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明

⃠は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
❗は、指示する行為を必ずすることを示しています。

⚠ 警告　死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

必ず守る　誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないで下さい。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

禁止　電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

●電池に傷をつけたり、分解したりしない。
●電池をショートさせない。
●電池を充電しない。
●加熱したり、火の中に入れたりしない。

電池から漏れた液に触れない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
●漏れた液に直接触れないでください。
電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠ 注意　傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容

必ず守る　**電池の⊕⊖を正しく入れる**
逆に入れると液漏れや発熱の原因になり、故障やけがの原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

分解禁止　**分解したり改造しない**
けがや故障の原因になります。

禁止　**強い振動や衝撃を与えない**
故障や破損の原因になります。

禁止　**下記のような場所では使わない**
部材の変形、変色、劣化により、品質や精度の低下、故障の原因になります。

●直射日光が当たる所。
●温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。
●温度が+50℃以上の所。
●温度が−10℃以下の所。
●ほこりが多く発生する所。
●強い磁気を発生させる機器のそば。
●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●プール、温泉場などガスの発生する所。
●調理場など多くの油を使用する所。
●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

必ず守る　**液晶表示部が破損した場合は、素手でさわらない**
万一、液晶材料が手などに付着した場合は、通常の石鹸で洗い流してください。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
●壁に掛けて使用した場合、静電気により製品や壁が汚れることがあります。定期的に汚れを落としてください。

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2ヵ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼／夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。（http://jjy.nict.go.jp）

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。
海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてお使いください。

電池のご注意　（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント　正しく使って事故をなくしましょう

●プラス（+）、マイナス（−）を間違えない。
●古い電池と新しい電池を混ぜない。
●種類の異なる電池を混ぜない。
●動いていても定期的に交換する。
●長期間使用しないときは電池を取り外す。
●止まったらすぐに電池を取り外す。
●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
●電池を新しくするときは、全部取り替える。
●幼児の手が届かない所に置く。

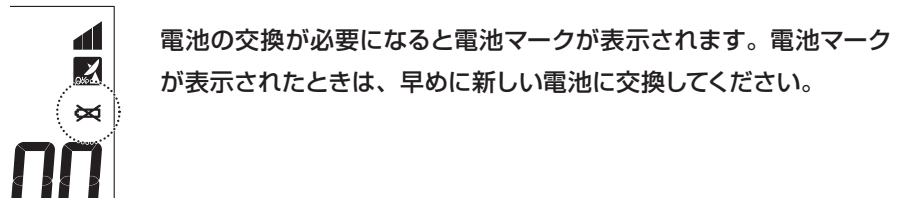
電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
●一般に充電式の電池は電圧が低く、不向きですので使用しないでください。
●一部の高性能電池では、初期電圧が高く、不向きなものがあります。
（例．Panasonic オキシライド乾電池）

電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換が必要になると電池マークが表示されます。電池マークが表示されたときは、早めに新しい電池に交換してください。

⚠ 注意　電池の交換　早めに交換して液漏れを防ぎましょう

必ず守る　**電池からの液漏れにより、修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。**

●古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
●動いていても1年に1回定期的に交換する。
●電池の⊕⊖を逆に入れない。
※単3形アルカリ乾電池を使用することができます。使用するときは2個とも同じ種類の電池を使用してください。

電池・製品の廃棄

●お住まい地区自治体の指定に従ってください。
●電池と時計を分別して廃棄してください。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

用途について

●この製品は医療や業務用として開発したものではありません。
●注意表示は、測定条件によって大きく変化します。あくまでも目安としてお使いください。
●本製品は、温度、湿度の証明など商取引に使用することはできません。

おもな製品仕様

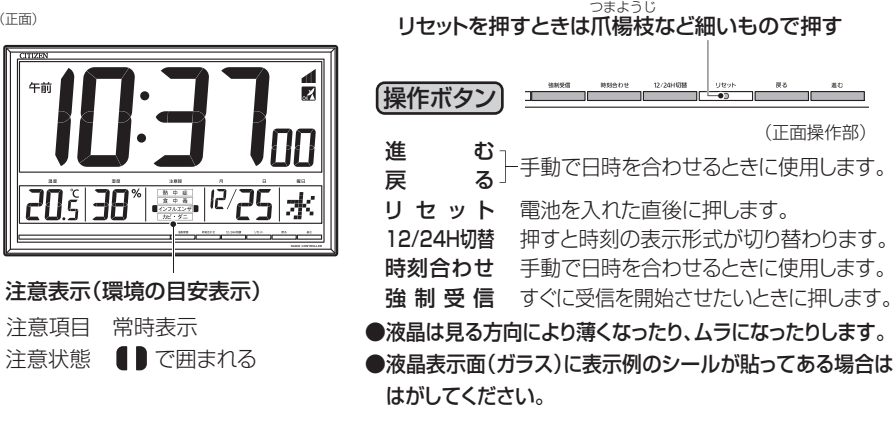
項目	仕様
使用温度範囲	−10 ～ 50℃（液晶表示可読温度範囲0～40℃）＊結露しないこと
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度　±1秒 標準電波を受信しない場合　平均月差 ±30 秒（常温中のクオーツ精度）
使用電池	単3形マンガン乾電池　JIS 規格　R6P　2個
電池寿命	約1年
電池交換時期お知らせ機能	1時間に1回確認
標準電波	標準電波を受信して日付・時刻を修正
受信局	福島局／九州局自動選択
受信回数	1日8回
受信開始時刻	1時～4時、13時～16時　各時間帯の16分40秒に開始
受信 ON/OFF	ボタン操作にて切替可能
カレンダー	2012 ～ 2099年対応
温度湿度表示	
測定間隔	約1分間隔
温度表示範囲	−9.9 ～ 50℃
温度精度	±1℃　温度表示範囲
湿度表示範囲	20～95%RH　温度が5～50℃のとき　＊相対湿度表示
湿度精度	±3%RH　温度 25℃　湿度 60%RH のとき
防塵防滴機能	なし

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなることがあります。
40℃以上になると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなることがあります。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品
電池　2個　木ねじ　1個　取付金具　1個　くぎ　4本
保証書　1枚　取扱説明書　本書

ご使用方法（電池を入れて標準電波を受信して日時を合わせる）

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

（正面）

注意表示（環境の目安表示）

注意項目　常時表示

注意状態　◖◗ で囲まれる

リセットを押すときは爪楊枝など細いもので押す

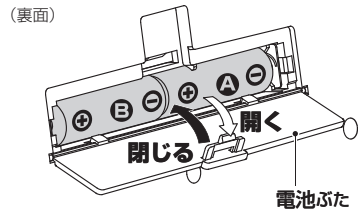
操作ボタン　（正面操作部）

- 進　む・戻　る　手動で日時を合わせるときに使用します。
- リ セ ッ ト　電池を入れた直後に押します。
- 12/24H切替　押すと時刻の表示形式が切り替わります。
- 時刻合わせ　手動で日時を合わせるときに使用します。
- 強 制 受 信　すぐに受信を開始させたいときに押します。

●液晶は見る方向により薄くなったり、ムラになったりします。

●液晶表示面（ガラス）に表示例のシールが貼ってある場合ははがしてください。

（裏面）

開く　閉じる　電池ぶた

電池の入れかた

①電池ぶたを開ける。

②電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、単3形マンガン乾電池を2個入れる。
Ⓐの電池はⒷの位置に入れてから横に移動させる。

③電池ぶたを閉じる。

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、**手動での時刻合わせ** をお読みください。

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

❶ 電池を入れる

電池の⊕⊖を逆向きに入れると液漏れ、発熱、破裂の危険があります。

❷ リセットボタンを押す

受信マークが点滅し受信を開始します。

受信中はボタンに触れないでください。

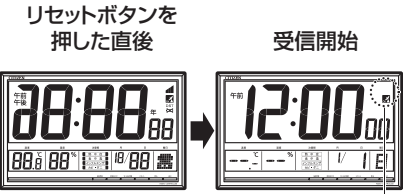
❸ 20分待って受信結果を確認する

受信時間は最長で20分です。受信マークで確認してください。

【受信の流れと表示】参照

【受信の流れと表示】

リセットボタンを押した直後　　受信開始

受信マーク（受信中点滅）

電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2012年 1月 1日午前12：00に設定されます。

温度、湿度は6秒程度遅れて表示されます。

受信マークの変化（電波サーチ機能）

電波の状態により変化します。

受信できない ▶ 受信しやすい

①　②　③　④

〈受信終了〉

最長20分後

受信成功
受信マークが点灯

受信マーク消灯
失敗！

※受信に失敗した場合は、時刻や日付は正しくありません。

➡ **標準電波を受信できない場合**へ

（受信に**成功**したときの表示例）　（受信に**失敗**したときの表示例）

●受信マークは受信成功後、24～25時間点灯。

●受信に成功しても、電気的なノイズにより誤った時刻や日付を表示することがあります。
このようなときには、場所を変えてリセットボタンを押して再度受信を試みてください。

電波受信中のボタン操作について

電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信マークが消灯して受信を中止します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った日時を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの合間、地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

チェック！

1～2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えて**リセットボタン**を押し、再度受信を開始させてください。

標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で日時を合わせて一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

標準電波を受信できないときには、手動で日時を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ　…… 電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

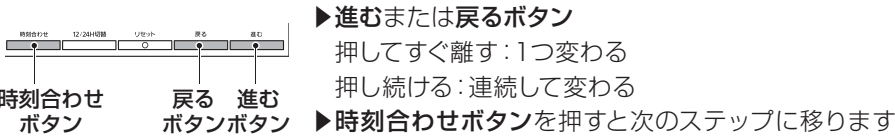
ボタン操作により、手動で日時を合わせることができます。

このときの時間精度は、平均月差 ±30秒のクオーツ精度になります。

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻（時、分）の順に設定します。

時刻合わせボタン　戻る 進む ボタン ボタン

▶**進むまたは戻るボタン**
押してすぐ離す：1つ変わる
押し続ける：連続して変わる

▶**時刻合わせボタン**を押すと次のステップに移ります。

●電波受信機能がONの場合、手動で日時を合わせても自動受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。（**電波受信機能のON/OFF操作**）参照

●**約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、時刻合わせを終わります。**

操作例. 2013年12月25日　午前10：37に合わせる

① 設定を開始する

西暦年が点滅するまで**時刻合わせボタン**を約2秒間**押し続ける。**

② 西暦年

進むまたは**戻るボタン**で「2013」年に合わせて、**時刻合わせボタン**を押す。

③ 月

進むまたは**戻るボタン**で「12」月に合わせて、**時刻合わせボタン**を押す。

④ 日

進むまたは**戻るボタン**で「25」日に合わせて、**時刻合わせボタン**を押す。

⑤ 時

進むまたは**戻るボタン**で「10」時に合わせて、**時刻合わせボタン**を押す。

12時間表示の時は、「午前」「午後」の表示に注意。

⑥ 分

進むまたは**戻るボタン**で「37」分に合わせて、**時刻合わせボタン**を押す。

以上で設定が終わりました。

※秒は⑤⑥で**進む**または**戻るボタン**を押すたびに「00」秒に設定されます。

電波受信機能のON/OFF操作

電池が無い状態では、受信機能はONになります。

※OFF状態のときに電池を取り外しても回路内の残留電荷のためすぐにはONになりません。
数分間放置してから電池を入れてください。

■ 受信機能 OFF（無効にして手動で日時を合わせる）

リセットボタンを約1秒間隔で3回押してください。

○OFFになるとリセットまたは強制受信ボタンを押しても受信マークを表示しません。

○日時は手動で合わせてください。

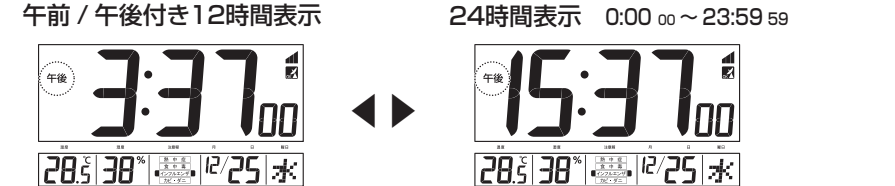
■ 受信機能 ON（有効にして受信を開始する）

戻るボタンを押しながら、**リセットボタン**を押すと受信マークが点滅して受信を開始します。その後に**戻るボタン**を離してください。定期的に標準電波を受信して日時を自動修正します。

※操作のタイミングによっては、ON／OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

時刻表示形式の切り替え

12/24H ボタンを押すと切り替わります。

午前 / 午後付き12時間表示　　24時間表示　0:00 00 ～ 23:59 59

※表示の切り替えは、受信中、日時の設定しているときは操作できません。

温度、湿度表示について

センサーが本体内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

本製品は一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くでは、室内の温度と湿度を反映しにくくなります。

■測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度「HH.H」50℃より高温	「LL.L」−9.9℃より低温	
湿度「HH」95％を超えている	「LL」20％未満	「- -」測定不能（温度が５～50℃の範囲外）

※湿度は相対湿度です。単位は%RH ですが、天気予報など一般には%が使われています。

■注意表示　（環境の目安表示）

熱中症
食中毒
インフルエンザ
カビ・ダニ

4つの項目について注意（環境の目安）を表示します。項目は常に表示されています。

温度、湿度の状態により、注意対象項目が◖◗で囲まれます。

左図では「インフルエンザ」が対象になっています。

※表示により発生の有無を断定するものではありませんので、空調や体調管理などの目安としてお使いください。

※公的機関から発表される「注意」や「警報」とは一致しないことがあります。

熱中症

高温環境下で、体内の水分や塩分などのバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして、発症する障害の総称です。気温、気流（風）、湿度、輻射熱の状態によっては、屋内外を問わず発生しやすくなります。こまめな水分補給、室温の調節、風通しをよくするなど体温の上昇を防ぐ必要があります。

食中毒

梅雨など高温多湿となると菌が増殖しやすくなります。細菌による食中毒を予防する三大原則といわれているのは、

1. 菌を付けない（清潔にする）
2. 菌を増やさない（迅速に冷却、乾燥する）
3. 菌を加熱などで殺す

対策が必要になります。

インフルエンザ

湿度が低いとインフルエンザウイルスの生存率を高めるとともに、鼻・喉・気管などにある粘膜の繊毛の働きを弱め、ウイルスによる感染が起こり易くなります。室内の湿度を調節したり、マスクを着用するなどの対策が必要になります。

カビ・ダニ

一般にカビ・ダニ等は、室温20～30℃、湿度70％前後が最もその生育に適した温湿度条件だといわれています。増殖を抑えるために、風通しをよくして、湿気がこもらないようにする必要があります。

設置

⚠注意　**一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。粉じんが多い所、水がかかる所、結露する所では使用しないでください。故障や誤作動の原因になります。**

○屋外、温室、サウナ、プール、温泉、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。

○直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。

○空気がよく循環する場所に設置してください。

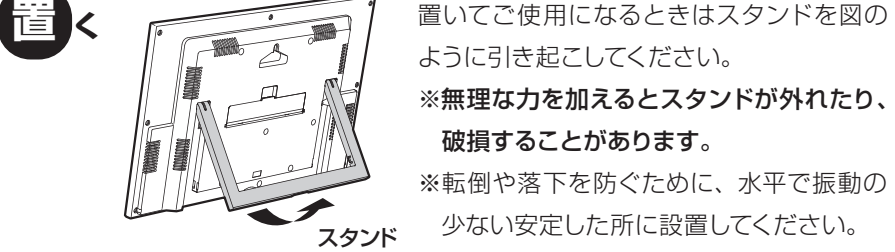
※設置する高さによっても温度、湿度が変わります。一般的な室内の低い位置では温度は低く、湿度は高くなります。

※湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しの良い所と悪い所では違いがでてきます。

置く

置いてご使用になるときはスタンドを図のように引き起こしてください。

※無理な力が加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。

※転倒や落下を防ぐために、水平で振動の少ない安定した所に設置してください。

掛ける　**⚠注意**　**掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。**

○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具（木ねじ）がしっかり掛かっていることを確認してください。

○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。

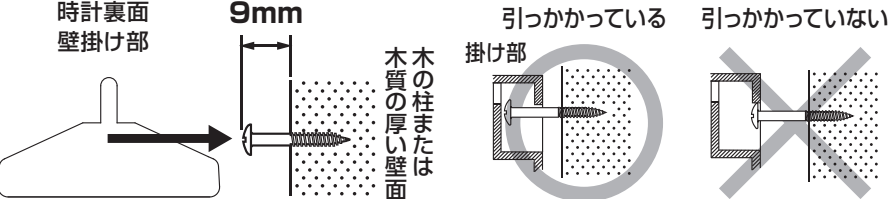
○ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。

○スタンドを閉じてください。

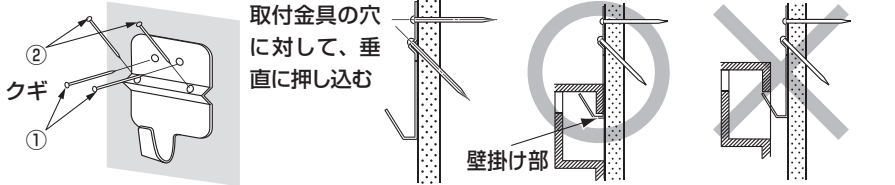
木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

●木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

石こうボードの壁面の場合

●付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。

●取付金具は下図のとおり、付属のクギ４本でしっかり固定してください。

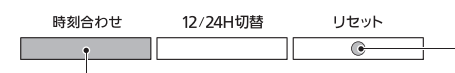
金具を水平にして①②の順序でクギを打つ。

○壁の材質、取り付け方法を確認の上ご使用ください。

○取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。

○取付金具には、3.5 kg以上のものは掛けないでください。

その他の壁面の場合

●上記以外の壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。**その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。**

強制受信とリセット操作

強制受信ボタン

場所を移動したときなどに、強制受信ボタンを押すと受信を開始します。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。

次のようなときは受信を開始しません。

- 手動で日時を設定しているとき
- 受信機能がOFFになっているとき

リセットボタン

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。

リセット直後は、2012年1月1日午前12：00になります。受信機能がONのときは、受信を開始します。